

參議院通商產業委員會會議錄第五十八號

昭和二十七年六月二十八日(土曜日)午後二時十六分開会

〔速記中止〕

出席者は左の通り。
委員長 竹中七郎君
七郎君 下さい。
C 委員長(竹中七郎君) 速記を始め

他に御発言もございませんようですが、から質疑は盡きたものと認めて御異議ございませんか。

○委員長(竹中七郎君) 御異議ないものと認めます。

それではこれより討論に入ります。

修正意見がございましたらこの際お述べを願います。

ちよつと速記をとめて下さい。

べを願います。
ちよつと速記をとめて下さい。

衆議院議員
石川 清一君
○委員長(竹中七郎君) 速記を始め
て.....

事務局側

常任委員会専門員 林 誠一君
専門員 会専門員 山本友太郎君
常任委員 小田橋貞壽君
会専門員

○ 埼玉県清雄君 私は只今の特定中小企業の安定に関する臨時措置法案に対しまして修正案を提出いたしたいと思うのであります。

先ず修正案の文を朗読いたします。

特定中小企業の安定に関する臨時措置法案に対する修正案

特定中小企業の安定に関する臨時措置法案の一部を次のように修正す

○特定期間の中小企業の安定に関する臨時措

○委員長(竹中七郎君) 只今より通商産業委員会を開きます。
・特定中小企業の安定に関する臨時措置法案を議題といたします。御質問願
別表に次の一号を加える。
十四、ほうろう、鉄器製造業で政令で定めるもの
以上の私は修正案を提出いたしました。

すので、この特定中小企業の安定に關する法案といふものの出ることをこれが非常に要望されておるのであります。一日も早くこの法案を通さなくちやならんというような点で私どもが前から考へておつたところでありまして、又来たるべき臨時議会なり、何なりに相当修正すべき点も多々あると想うのであります。取りあえず現在の経済情勢から見まして、中小企業のことの危機というような面から見まして、このくらいの程度のものは一日も早くこの法律を通過させまして、そうして調整組合の機能を完全に發揮させ、そうして操縦対策等を講ずるということが今日の急務と存じますので、本法案に対して賛成をするものであります。

なお、同時にこの法案に關しまして、衆議院のほうから附帯決議が廻つて、

の最中におきましたが、併しそれはそう
いたしまして、只今塙野委員が指摘
に相成りました通り、目下中小企業そ
の他の諸君が非常に困つております
問題は、ただ單にお前たちを救つてや
るのだと、いうようなお題目ばかりでは
なくして、金融の処置がその大前提に
なるのでありまするが、そういう問題
にはお触りにならない。そういたしま
すと、非常に悪い解釈であるかも知
れませんが、現在の自由党内閣が中小
企業の対策がないので、無為無策のた
めに、これをカバーするという意味に
おいてこの中小企業の安定法といった
ものが現われて来たのではないかとい
うような感みをなしとしないでござ
いますが、併しながらこれとて又私
たちはその理由によつて本法律案に反

あつたほうがましだといふような効果を現わすだらうといふような意味において、私は贊意を表しまして、本法案の通過を願うものでござります。
○小林斐平君 私は社会党第四控室を代表いたしまして本法案に賛成いたします。

この法案は、主なる目的を操業短縮をすることにおいておりますけれども、操業短縮は何ら目下の経済不況や困難を根本的に解決するものではなく、一時の弥縫策に過ぎないとと思うのであります。が、目下の経済不況の起つて来た理由は、特需、軍需一辺倒へ進みつつある日本経済が世界の軍拡停滞の余波を受けまして深刻なる不況に見舞われまして、而も中国貿易が全面的に禁止され、平和産業と貿易の發展がないことにあると思うのであります。而

民主クラブを代表して賛成するものであります。

ただ、この法案は操縦対策と並びまして、金融措置をも加味してやるといふことを考えておつたのであります。が、この金融措置は全く忘られておりませんことと、併せてアウト・サイドに対する最も業界が希望を持つておる問題は何ら解決しておらない。又本案 자체の面に關しましてもまだ相当再考を要する点があるのじやないか、こういうふうに思つのでありますけれども、現在の日本経済の現況におきましても、中企業は非常な危機に見舞われております。

同じようにこの附帯決議に対しましては非常に希望をしておるのであります。こ^レういうものの実施を是非とも提案者におきましても急速にやつて頂きたいということを附加えまして本法案に賛成するものであります。

○島清君 私は社会党第二控室を代表いたしまして、本法案に消極的に賛意を表したいと思います。

提案者もしばしば私たちの質問に答えて、法律の不備をすなおに認めておりますし、更にその不備を将来補つて行くであろうという努力をお誓いになりましたので、私は稀に見る非常な率直なる答弁に対しまして、質疑応答

対をする理由もございませんので、私

て来ておるのであります、私どもも

昭和二十七年六月二十八日(土曜日)午後二時十六分開会 います。ちょうど速記をとめて。

○委員長(竹中七郎君)
出席者は左の通り。
〔返詰申上〕

民主クラブを代表して賛成するものであります。

同じようにこの附帯決議に対しましては非常に希望をしておるのであります

○委員長(竹中七郎君)
出席者は左の通り。
〔返詰申上〕

民主クラブを代表して賛成するものであります。

同じようにこの附帶決議に対しましては非常に希望をしておるのであります

軍需大資本優遇の偏向は、平和産業、中小企業であるそれら産業の窮状と行き詰ります／＼ひどくしておるのであります。これらの問題を解決しないで、ただ徒らに操縦の一時の糊塗策、操縦にのみ一時の糊塗策を求め、而もそれを中小企業の安定法案と称することは私は僭稱のそしりを免れないと思ひます。従つて真に中小企業の安定を図るために、政府が眞に右に述べましたような事柄について十分考慮を拂つて、根本的の対策を立てなければならぬと思うのでありますけれども、現在の自由党内閣には直ちにこういう根本的の中小企業の安定に対する対策を求めることが困難であるうと思うので、先ずこの程度の法案で最も、ともかく窮状にある一部の中小企業を救うのに多少の役に立つだらうと思いまして、私はこの法案に賛成する者であります。

正にかかる部分を除いて衆議院送付にかかる特定中小企業の安定に関する臨時措置法案全部を問題に供します。修正部分を除いた衆議院送付案に賛成のかたの御掌手を願います。

○鶴賀義長(竹中七郎君) 全会一致と認め
めます。よつて特定中小企業の安定に
関する臨時措置法案は全会一致を以て
修正議決されました。

がお、本会議における委員長の口頭報告の内容、及び事後の手続は慣例によりまして委員長に御一任願うこととして御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(竹中七郎君) 御異議ないものと認めます。

次に、本案を可とされましたかたは、例により順次御署名をお願いいたします。

多數意見者署名

松本	中川	小林	島	西田	○委員長(竹中七郎君)
昇	以良	幸平	緑城	隆男	(竹中七郎君)
山本	米治	小松	安次	清	では暫時休憩
正雄	清雄	正雄	安次	清一	いたします。
小松	清雄	正雄	安次	清一	

午後二時四十一分休憩

境野君提出の修正案に賛成のかたの御
挙手をお願いいたします。

○委員長(竹中七郎君) 全会一致と認めます。よつて境野君提出の修正案は可決されました。